

## 桜川市総務常任委員会

### ○招集日時

令和8年6月10日（水） 本会議終了後開会

### ○招集場所

岩瀬庁舎2階 大会議室

### ○協議事項

- （1）陳情第7号 大和駅北公園に大型遊具を設置するための費用・約7180万円を適正支出  
とした桜川市行政判断の検証を求める陳情

### ○出席委員（5名）

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 飯島洋省君 |
| 副委員長 | 萩原剛志君 |
| 委員   | 林悦子君  |
| 委員   | 小林正紀君 |
| 委員   | 仁平実君  |

### ○欠席委員（なし）

### ○会議事件説明のため出席した者の職氏名

|                |        |
|----------------|--------|
| 市長公室長          | 坪井昭君   |
| 総務部長           | 青木康博君  |
| 総合戦略部長         | 久見木憲一君 |
| 市民生活部長         | 岩渕治仁君  |
| 会計課会計管理者       | 上野俊一君  |
| 議会事務局長         | 増渕孝明君  |
| 総合戦略部次長兼地域開発課長 | 内桶裕教君  |

### ○職務のため出席した者の職氏名

|                  |       |
|------------------|-------|
| 総合戦略部地域開発課長補佐兼係長 | 大森忠君  |
| 議会事務局課長補佐兼係長     | 廣澤裕美君 |

開 会 (午後 3時05分)

○開会の宣告

○議会事務局長（増渕孝明君） それでは、ただいまから総務常任委員会を始めさせていただきます。  
本日の出席委員は全員です。

それでは、会議の進行につきましては、飯島委員長よりお願いいたします。

○開議の宣告

○委員長（飯島洋省君） ご挨拶抜きで進めさせていただきます。よろしくお願いします。

ただいまの出席委員は5名です。定足数に達しましたので、総務常任委員会を開会いたします。

これから本日の会議を開きます。

○協議事項

○委員長（飯島洋省君） 6月9日に本委員会に付託されました陳情についてを審議いたします。

陳情第7号 大和駅北公園に大型遊具を設置するための費用・約7180万円を適正支出とした桜川市行政判断の検証を求める陳情を議題といたします。

執行部より説明願います。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 地域開発課、内桶です。よろしくお願いいたします。着座にて説明いたします。

それでは、令和8年5月29日に受け付けられました陳情第7号 大和駅北公園に大型遊具を設置するための費用・約7180万円を適正支出とした桜川市行政判断の検証を求める陳情が風野議長宛てに提出をされております。陳情者は■■■■氏です。それでは、陳情内容を読み上げさせていただきます。

現在、大和駅北公園に設置されている大型遊具施設（資料1）は、「令和3年度 桜川筑西IC周辺地区開発第6号 大型遊具設置工事」（資料2）として行われました。起工概要書・工事概要にある「児童用大型複合遊具（6～12才）N=1.0基」は、3つの大型遊具（以下：児童用遊具と表記）、「幼児用複合遊具（3～6才）N=1.0基」（以下：幼児用遊具と表記）は、1つの大型遊具で、計4つの遊具で構成されています。「サイン」は、本遊具に付属して案内板です。植栽工は、樹木植栽と張芝です。

本事業の請負工事費（消費税込み工事価格）は7,894万7,000円です。植栽工分の請負工事費額713万8,000円（直接工事費406万1,676円より算出、百の位以下切り捨て）を差し引いた7,180万9,000円が大型遊具設置費用分となります。以下の金額については、資料3を基にしています。

大型遊具設置費用の主なもの3つです。まず、『材料費』、「児童用遊具2,630万円（資料4）」、「幼児用遊具466万円（資料5）」、計3,096万円です。この額は、直接工事費分なので、この額に共通費・消費税2,335万円が上乗せされて、実際に桜川市が、遊具材料費に支出した額は、5,431万円になります。

次に上記の材料を基にした『組立据付費用』です。児童用遊具506万円（資料4）、幼児用遊具114万円（資料5）、計620万円です。同様に共通費・消費税467万円が上乗せされ市の支出額は、1,087万円です。

最後に『案内板（サイン）』です。案内板は児童用遊具・幼児用遊具２つ（資料１）あります。直接工事費分として45万円（資料６）で、共通費・消費税33万円が加算されて市支出分は78万円です（その他・諸工事分は省略）。共通費は、直接工事費に付加される共通仮設費・現場管理費・一般管理費の費用です。

本陳情をするに当たっては、何度か公園に行きました。この４つの遊具は、周囲の遊具に比べても、確かに大きく目立つシンボリックな遊具であることは一目瞭然であります。ただ、問題は、その設置費用であります。7,180万円という額はとても納得できる額ではありません。「どうして桜川市は、この額を適正としたのか」、「その判断に至る過程に改善されなければならない点があるのではないか」との思いから、今回陳情した次第です。

お世話になります。よろしくお願いいたします。

住所、[REDACTED]。

氏名、[REDACTED]氏でございます。

そのほか資料としまして、資料１、桜川市ホームページより引用しました遊具等の写真、資料２、工事起工概要書、資料３、資料数量総括（内訳）表、資料４、本工事費内訳書が添付されております。

陳情につきましては以上になります。

続いて、大和駅北公園における大型遊具設置事業につきましては、行政判断の検証及び公金支出の適正性を求める陳情に関する市の見解についてお答えいたします。本事業は、本市の未来を担う子供たちの健全な育成と子育て環境の充実を図る重要な拠点整備として進めてまいりましたが、市民の皆様の貴重な財源をお預かりする立場として、その支出の妥当性について高い関心とお尋ねいただいたことは、行政の透明性を確保する観点からも意義深いものと認識しております。

本工事の積算における経費算定につきましては、陳情書におきましては、全部の工事費から部分的な金額を抜き出し、共通費や消費税を独自に案分された試算が示されております。しかしながら、公共工事の予定価格算定におきましては、土木工事費積算基準に基づき、各工種を積み上げて直接工事費を算出し、その額に対して定められた経費率を機械的に適用する手法が取られております。

また、これらの共通費の諸経費につきましては、公共工事の品質確保の促進に関する法律や建設業法等に基づき、適正な施工品質の確保、現場の安全管理、さらには従事する作業員の適切な労務環境や法定福利費を担保するために適正に提示することが法律上義務づけられているものでございます。

さらに、本遊具のように、市販の物価資料に記載のない高額な特殊資材につきましては、適正な市場価格を把握するため、専門機関による資材価格特別調査、実勢価格調査を厳格に実施し、その客観的な第三者のデータに基づき、設計積算を行っております。

遊具の選定に当たりましては、幼児から児童まで幅広い年齢層が安全かつ自発的に多様な運動を楽しめる機能性、他市での導入実績や人気度、メーカー保証、そして経済性など多角的な視点から３者の提案を比較検討し、設計業者と綿密な協議を経て、最良のものを判断、選定させていただいております。

手続面におきましても、令和３年10月に市内Ａランク企業を対象とした一般競争入札を適正に執行

し、その後、現場の安全性を高めるための地下排水設備工や本工事等の追加を伴い、変更契約を経て、令和4年5月2日に厳格なる検査の下、適正な支払いを完了しているところでございます。

本遊具は単なる遊具施設にとどまらず、子供たちが大勢で利用する中で社会性や協調性を育む場であり、同時に公園のシンボルとして市内外からの集客を図るという本市の第2次桜川市総合計画に掲げる子育て支援や地域活性化に資する重要な意味を持つものと考えております。

以上のようなことから、本事業における一連の行政判断及び公金支出は、関係法令及び公的な積算基準に基づき、適正に執行されているものと確信しております。現時点において、そのプロセスに改善を要する点は見当たりませんが、今後も市民の皆様への丁寧な説明責任を果たしつつ、客観的な基準に基づく適正な予算執行と健全な行財政運営に最善の努力を尽くしてまいりたいと思っております。

以上になります。

○委員長（飯島洋省君） 説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

林委員。

○委員（林 悦子君） これ遊具のメーカーはどこでしたっけ。あの大型遊具。

あともう一つ、入札の状況、その設置の。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） すみません。遊具のメーカーをちょっと確認しますので。

一般競争入札につきましては、市内Aランクの業者18社を対象に一般競争入札としまして、6社からの入札を受けて、羽黒石材に決定しております。

○委員（林 悦子君） これ書取書みたいのはないのですか。あるよね。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） はい、あります。今は持ち合わせていません。

○委員長（飯島洋省君） 取り寄せられないのですか。ちょっと今日ここで判断しなければならないので、材料的にはあったほうがよろしいかと思います。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 分かりました。

○委員長（飯島洋省君） あと、メーカーも。

○委員（林 悦子君） 絶対聞かれるのだよね。

○委員長（飯島洋省君） では、待っている間、そのほかございますでしょうか。

○委員長（飯島洋省君） これちょっと参考までに、資料の3—1からのもので、米印と丸印があると思うけれども、これ米印のこれは誰が書いているもの。陳情者ですか。手書きで書いてある共通費関係、各共通費に基づいた積み上げ分というのは、手書きで書いてある米印と丸印。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 陳情者が出してきたものは陳情者がつけたものです。

○委員長（飯島洋省君） 共通費関係で米印になっているのだけれども、共通費関係で印がついていないところもあると思うのだよね。ちょっとよくこの資料の意図が分からないのだけれども。

〔何事か声あり〕

○委員長（飯島洋省君） これ入札はいつで、工事はいつですか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 入札につきましては令和３年10月25日に一般競争入札で行っております。

○委員長（飯島洋省君） 令和３年……

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 10月25日です。

○委員長（飯島洋省君） 10月25日。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） はい。

〔「平成３年にやったやつだ」の声あり〕

○委員長（飯島洋省君） 令和３年。だから、５年前入札。工事は。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 10月28日から、最初は３月31日までの159日間でした。

○委員長（飯島洋省君） 159日間。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） それを４月27日まで22日間の工期延長はしております。

○委員長（飯島洋省君） そうすると、令和３年の入札で、令和４年の４月までの工事ということですか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） そうです。

○委員長（飯島洋省君） ４年から５年前。

〔「４年前か」の声あり〕

○委員長（飯島洋省君） そうすると、今だともっと上がってしまっているのでしょうか。

○委員（林 悦子君） 輸入だよ、これ。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） そうです。たしかヨーロッパのほうの。資材はアメリカからです。

○委員（林 悦子君） どこだった。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） ドイツ製の物がアメリカから来たとかという、たしかちょっとややこしい。

○委員（仁平 実君） どうにもならないよ、これ。終わったやつだよ。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 竣工検査が５月２日に……

○委員（仁平 実君） 高過ぎるのも安過ぎるのも言える訳ないよね。

○委員長（飯島洋省君） 林委員。

○委員（林 悦子君） これは施設そのものの値段が適正かどうかと、あと設置工事費……

○委員（萩原剛志君） 設置費用って書いてある。

○委員（林 悦子君） これね。設置費用のことを言っているわけでしょう。設置費用って、だからそれは入札の書取書を見れば分かるでしょう。

○委員長（飯島洋省君） 設置費用は入札の書取書を見ても分からない。

○委員（林 悦子君） 分からない。

○委員長（飯島洋省君） 内訳書というか、ここの……

○委員（林 悦子君） 全体でやっているから。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） すみません。うちのほうで資料１としまして工事概要書から内訳書をつけさせていただいておりますので。

○委員長（飯島洋省君） どこだろう。

○委員（林 悦子君） どこ。

〔何事か声あり〕

○委員（林 悦子君） どこだ、資料１って。

○委員（萩原剛志君） 追加資料、追加資料。

○委員長（飯島洋省君） この今日つけてもらっている、資料２、資料３。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 資料３が複合遊具の比較表です。

○委員長（飯島洋省君） ちょっとこれ説明してもらえます。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 資料２から説明させていただきます。

○委員長（飯島洋省君） 資料２出してもらっていい。

〔何事か声あり〕

○委員長（飯島洋省君） その添付の資料２、資料３、説明してください。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 資料２につきましては、令和３年度資材価格特別調査業務委託を発注しましたので、そちらの資料になっております。こちらは、一般の物価資料、物価本などに記載のないようなもの、または高額の特種な資材を使う際に、適正な市場価格を把握するため、専門業者に委託をし、実勢価格を調査しているものでございます。

今回出ました大型複合遊具などの物価資料、物価本などの記載がなく、こちらの調査をして、その価格を採用した積算となっております。その価格につきましては、９ページ記載のとおりなのですが、９ページに調査報告書がついていまして、遊具などの金額が実勢価格として出されております。この価格を採用して積算しておりますので。

○委員長（飯島洋省君） では、この単価がさっきの積算資料に入っている。イコールになっているのですか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） なっています。

○委員長（飯島洋省君） これ予算計上するときにはもう議会承認をもらっているわけですね。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 予算計上ときにはいただいています。

○委員長（飯島洋省君） ですね。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） はい。

○委員長（飯島洋省君） 適正なプロセスを取って発注されているということですね。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） そうです。なので、設計、市場価格調査、積算という全てが業務委託でやっておりますので、もうかなりがちがちに固められた金額での工事発注になっ

ています。

○委員長（飯島洋省君） この調査業務委託というのは費用かかっているのですか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） かかっています。

○委員長（飯島洋省君） 幾らかかっている。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 100万円とかいうものです。

○委員長（飯島洋省君） 資料3もお願いします。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） こちらは、遊具設置の際に3者から遊具の選定の提案をいただきまして、その比較検討をしたものになります。A社が今現在ついております大型複合遊具、B社のものが計19種の遊具が楽しめるもの、C社は15種ということで、より一番活動的にできるA社というような最終的な結果にはなっております。

○委員長（飯島洋省君） これは比較表で費用検討は比較していないのですか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 比較検討はしておりません。

○委員長（飯島洋省君） 随分太っ腹な比較表ですね。

そのほか質疑ございますでしょうか。

どのぐらいかかりますか。今のメーカーとその書取書。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 昨日まで見ていたものなので、すぐに出ると思うのですが。

○委員長（飯島洋省君） ちょっとそれをいただいて、そこから議論を深めて、判断を決めていきたいと思うのですけれども。ただ、ちょっとこれ陳情分からないところがあるのだけれども、検証を求める陳情だから、我々が検証しましたということになれば、この陳情の意図が達せられてしまうので、採択ということの判断になるのか。この内容も、何でしょう、これ。ただ、つらつらと費用のことは書いてあるのだけれども、どうしたいのかというような目的はないと思うのですよね。どうこれをこの中身を判断するかということになるかと思いますが。

林委員。

○委員（林 悦子君） 結局トータルの7,180万円が高いと思うのだけれども、どうしてこの金額に収まって、皆さん納得したのですかということを説明してくれということでしょう。

だから、2つ遊具がこうやって選定して、この値段は妥当だと思った、あるいは設置のほうも同じように理由がこうで認めたというその2つが言えればいいのではないの。

彼から見れば高いのだけれども、こっちから見れば適正価格だったことが言える。

○委員長（飯島洋省君） ということは、高いから不適正ではないかということに対して判断をすればいいということなのですか。

○委員（林 悦子君） うん。確かに高いよなという判断もあるかもしれないから、それは。

○委員長（飯島洋省君） それで採択した場合というのは。

○委員（萩原剛志君） 高いと。

○委員（林 悦子君） だから、その過程に改善されなければならない点があるのではないかという

思いから書いたのだったら、改善される点がなければ採択しなくたって構わないという。

○委員長（飯島洋省君） という判断ですね。

○委員（林 悦子君） なかなか巧妙な手法だから……

○委員長（飯島洋省君） そうなのです。

○委員（林 悦子君） 別に検証しただけの陳情だったら採択したって構わないような気もするけれども。

○委員長（飯島洋省君） なので、陳情どおり検証しました。

○委員（林 悦子君） でも、陳情の目的は高いのではないかということだから、採択してしまうと高いのではないかと言ったことと同じになってしまうので。

○委員長（飯島洋省君） ですね。

○委員（萩原剛志君） でも、不採択にしたら適正だって認めたということになる。

○委員（林 悦子君） 適正だから不採択って。

○委員（萩原剛志君） 適正だから議会で不採択にした場合は、委員会としては適正ですって言うなくてはならない、委員長が。適正かどうかという判断はしないので。

○委員（林 悦子君） 検証はしたと。だけれども、検証した結果、適正価格だと認められるから。

○委員（萩原剛志君） 適正ではないけれども、やむを得ないとか。そういう、言わなくてならない。

○委員（飯島洋省君） 適正だけれどもやむを得ないではなくて、高額だけれどもやむを得ないではないですか。

○委員（萩原剛志君） そういうことだ。高額だけれども、やむを得ない。

○委員（林 悦子君） 結局物価版に載っていないようなやつを、例えばこの間……

○委員長（飯島洋省君） これちょっと今フリートークになっていますが、暫時休憩にしますか。それともこのまんまいですか、続けてしまっ。

○委員（林 悦子君） 言ったって構わないです。

○委員長（飯島洋省君） 林委員。

○委員（林 悦子君） この間見てきたところのボーネルンドというデンマークだかどこかの宅内施設見たよね。あれなんか見れば、金額までは聞かなかったけれども、いかにも高そうなわけで、それを結局物価版に載っていないようなものについては、わざわざ100万円かけて市場調査を依頼しているわけだよ。だから、それというのも、できる限り適正価格を探ろうとするから、わざわざ100万円かけているのであって、別にうんと安ければいいというのであれば、同じものをここでは幾らで売っていて、ここは幾らで買ったというやつをやってもよかったわけです。

だから、やっぱりこの■■■■さんの根底にあるのは、一般市民の買物の仕方と行政の買物の仕方が違うってということがよく分かっていないというところがずっとついて回っているから、似たり寄ったりの陳情が出ている。

○委員長（飯島洋省君） 買物と工事発注の違いというのも分かっていないということ。

〔資料配付〕

○委員長（飯島洋省君） これ、でもちょっと回答になっていないな。これ多分コトブキで輸入はしているけれども、実際にはコトブキではないと思うのですけれども、それが知りたい。

○委員（林 悦子君） つくった会社の名前があるじゃん、ボーネルンドとか。

○委員長（飯島洋省君） コトブキが輸入元にはなっていると思うのだけれども。

○委員（林 悦子君） だから、アメリカだろうがカナダだろうが、つくった会社、メーカーがあるだろうって。

〔何事か声あり〕

○委員長（飯島洋省君） まず、書取書の説明をお願いします。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 10月の25日に執行しました一般競争入札になります。この際、6者から最初の申入れがありましたが、2者辞退をされまして、最低価格を提出された羽黒石材工業株式会社6,850万円、こちら税抜きの額になりますが、こちらで落札となっております。

○委員長（飯島洋省君） 税別。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） はい、税抜きの金額です。

○委員（林 悦子君） 予定価格が表示されないの、これ。

○委員長（飯島洋省君） 予定価格が7,177万円ということですか。

○総務部長（青木康博君） 予定価格はそこに入っています。7,177万円。

○委員長（飯島洋省君） 手書きの。右下が最低制限価格ということですか。

○総務部長（青木康博君） そうです。

〔何事か声あり〕

○委員（林 悦子君） 輸入元はここなのだろうけれども、どこの何を入れたのかというのが、ちょっと知りたいところではあるよね。

○委員長（飯島洋省君） これ請負工事費7,894万7,000円と書いてあるのですが。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） こちらは税込みの額になりまして、仮設工、地下排水設備工、芝生保護工等の追加をしまして、297万円の増額となったものが7,832万円になります。支払い総額7,832万円です。

○委員長（飯島洋省君） 萩原副委員長。

○委員（萩原剛志君） 資料とはちょっと別の質問ですけれども、この陳情者はこの陳情を出す前に、担当課とかに苦情なり問合せをして納得がいけないから陳情で上げてきたのですか。それともいきなり陳情で上げてきていますか。これどういう、プロセスはどんな感じですか。

○委員長（飯島洋省君） 内桶課長。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君）

。それで、直接その陳情者からは高いとかそういったご意見は何もいただいております。

○委員長（飯島洋省君） 萩原委員。

○委員（萩原剛志君）

○委員長（飯島洋省君） 内桶課長。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君）

○委員長（飯島洋省君） 萩原副委員長。

○委員（萩原剛志君） この陳情者以外に遊具に関する苦情とか、そういった高いだろうとかという問合せは、市民からあったのかどうか。陳情者以外にありましたか。

○委員長（飯島洋省君） 内桶課長。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 今までにそういったことを言われたことはありません。

○委員（萩原剛志君） 分かりました。

○委員長（飯島洋省君） そのほかございますでしょうか。

〔「休憩する」の声あり〕

○委員長（飯島洋省君） では、暫時休憩します。

休 憩 （午後 ３時３７分）

---

再 開 （午後 ３時４３分）

○委員長（飯島洋省君） それでは、会議を再開します。

そのほか質疑等ございますでしょうか。

大体もう聞くことよろしいですか。そうしますと、陳情に対してどのような判断をしていくかというところになるのですが、ご意見ございますでしょうか。

〔「不採択だろう」の声あり〕

○委員（萩原剛志君） 陳情に不採択でしょう、不採択。不採択の理由は言わなくてはならない。やむを得ないという。

〔何事か声あり〕

○委員（萩原剛志君） そこがちょっとあれだな。

〔何事か声あり〕

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） すみません。こちらの工事の予定価格を決定するに当たりましては、土木工事積算基準に基づき、各工種の積み上げをして直接工事費を出しております。その総額に対して定められた経費率というものを掛けて機械的な手法でこの発注額を設定しております。そちらのほうは共通仮設費、諸経費につきましては、公共工事の品質確保の促進法に関する法律、建設業法等に基づき適正な品質の確保、適切に積算をして……

○委員長（飯島洋省君） 多分論点は手続、そして見積りをちゃんと、あと調査かけて、見積り取って、それを判断基準として適正な手続を取って発注して、入札されて、工事がなされたというところ

の事務上は何の問題もないと思います。

あとは論点は、この遊具自体が、選定した遊具がこんな高額な遊具が必要だったのかというところと値段、こういう高額な遊具を発注する必要があったのかというところだと思うのです。その判断というのは、なかなか我々も議会では承認しているし、それで予算を取って発注して工事がなされた。今子供たちも喜んで使っているというようにも現状としてはある。そこで、今回の陳情に対してどのような判断をするかというところだと思うのです。

はい、林委員。

○委員（林 悦子君） この大型遊具に関しては、私が、どうせ設置するのであれば、非常にダイナミックな遊具を入れたほうがいいよと。従来のブランコだ、滑り台だとかではなくて、それは多分輸入にしかないよと。デンマークとかドイツとかというふうには言った。それは私言ったのです。ある程度高額であっても、それぐらいのものを入れたほうがいいということは。

ただ、その後、ある種の流行りになったわけだから、この手の遊具が。メーカーもそれなりに出てきていると。だから、できたら同じ金額ぐらいでメーカーが違っていると、どんなものがあるのかなという提案があってもよかったような気はするよね。これ、このコトブキの提案を見ると、同じメーカーのちょっと組立てが違ふものを提案してきている。多分ここが取引なのだよ、きっとね。輸入代理店か何かなのかもしれない。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） すみません。

○委員長（飯島洋省君） 内桶課長

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 確認したところ、コトブキからの納品になりまして、コトブキは国内で生産しているそうです。

○委員長（飯島洋省君） これを。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 国内産ということです。

○委員（萩原剛志君） 国内産なの。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） なので、輸入品ではないというふうな。

○委員（林 悦子君） 木材は。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 全て樹脂製ということなので、国内産。

○委員（林 悦子君） それはちょっと私の意図したこととはちょっと違うな。国内産が必要な国内産を使えというような、室内の内装とかそんなのではなくて、屋外施設はもう絶対的にヨーロッパとかのほうが豊富なのだよ、カラフルだし。なので、そういうところを想定していましたので、これが悪いというわけではない、今みんな遊んで使っているから悪いわけではないけれども、ちょっとその辺は国内にこだわって高くなったのだから。もし輸入だったとしたら、当時から比べたら今だったらもっと輸入価格が上がっているだろうということは言えるよね。これはちょうどあれの頃か、コロナの頃。

○委員長（飯島洋省君） そうすると、さっきのA社、B社、C社というのとそれぞれ提案があったというのは、それぞれメーカーは違うのですか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） ちょっとそれについては確認しないと。

○委員長（飯島洋省君） さて、そのほかご意見ございますでしょうか。

林委員。

○委員（林 悦子君） あの公園の場合は、結局大型遊具が命なわけよ。だから、これを何でここに選んだのかというところがちゃんとしないと。それが適正かどうかということも言えないではない。国内だと高いのか、それとも輸入品だと高いのか、私では何とも言えないけれども、私が想定していたのは輸入品でした。こうやって国内メーカーが出てきて、こういうものにチャレンジしていくというのはいいことだと思うけれども、別に自分たちのところの地場産業支援のためにあの遊具を買ったわけではないから。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） すみません。3社につきましては、メーカーは別ということです。

○委員（林 悦子君） みんな国内。分らないの、これ。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） だから、品質保証とかの保証期間がそれぞれ違っていて、採用しましたA社は30年間保証というのがついています。この比較表でも一番下にあるのですが。

○委員長（飯島洋省君） 2年間保証、3年間保証に対してですね。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） アルミ製に関しては30年間保証ということで。

○委員（林 悦子君） それで幾らだっけ。この遊具そのものは幾らだっけ。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 込みで3,354万円です。

○委員（林 悦子君） 組立て費は別でしょう。組立て費も込みで。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 組立て費が入って3,354万円。

○委員（林 悦子君） トータルで。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） はい。

○委員（林 悦子君） それ以外、あと何が。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） すみません。約4,000万円です。遊具に関しては4,057万円です。

○委員長（飯島洋省君） これ2つ合わせてでしょう。これ。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 4,057万4,185円です。

○委員（林 悦子君） あと何。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 資料1の2ページにあります……

〔何事か声あり〕

○委員（林 悦子君） 工事費が4,400万円か。

○委員（萩原剛志君） 直接工事費。

○委員（林 悦子君） この工事費は何の工事だっけ。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） こちらには基盤整備とか植栽が入って4,400万円に

なります。

○委員（林 悦子君） 芝張りと。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） はい。

○委員（林 悦子君） Wi-Fiと。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） Wi-Fiはそのときやっていないので、植栽……

○委員（林 悦子君） 土木の専門家、どうですか。

○委員（仁平 実君） 発注形態が本当は特殊工事だから機械器具設置工事とか、報告はこれ土木工事で発注しているのだな。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 公園がそうですね。土木の公園になります。

○委員（仁平 実君） 歩掛りがいいのだよ。

○委員（林 悦子君） 歩掛りがいい。

○委員長（飯島洋省君） 経費率がいいのですよ。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 経費率が、普通の土木工事よりも公園工事のほうが高くなってしまいますので。

○委員（林 悦子君） ああ、なるほどね。

○委員長（飯島洋省君） さらに、建築工事が一番低いのです。

○委員（林 悦子君） 何で土木工事で発注しなかったの。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 遊具となりますと、やはり公園に設置する遊具なので、公園工事になってしまいます。

○委員（林 悦子君） これはよく分からないな。やる業者は一緒ではないの、だって。

〔何事か声あり〕

○委員（林 悦子君） では、土木工事としてではなくて、公園工事として発注してちょうだいねと言ったらよっぽどそっちのほうの利益率がいいということでしょう。土木工事として発注したら違法なの、これ。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） やはり価格を下げてしまうことになりますので、公共工事としては……

○委員（林 悦子君） だって、価格下がらないではない。遊具の値段ははっきりしているのだから。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） ただ、経費が下がってしまいますので。

このときは併せて国庫補助金も使った工事が出ていますので、その辺も。

○委員長（飯島洋省君） これ補助金使っているのですか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） これは、これに対しては入っていません。これと違う工事で使ったものですから

○委員長（飯島洋省君） ちょっと暫時休憩して、話のすり合わせをします。

休 憩 （午後 3時55分）

再 開 （午後 3時58分）

○委員長（飯島洋省君） 会議を再開します。

林委員。

○委員（林 悦子君） この遊具をほかでどこで使っているかというのは確認したか。

○委員長（飯島洋省君） 内桶課長。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） これと全く同じというものは見ていません。

○委員（林 悦子君） でも、このメーカーなどのこういう、このメーカーの造ったものをどこの自治体で使っているところはあるかって聞いた。

○委員長（飯島洋省君） ほかを見に行っているか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 私が見ているのは笠間中央公園とか、真岡の公園なんかは見に行っていますが、またちょっと違ったものという感じはしますけれども。

〔何事か声あり〕

○委員長（飯島洋省君） でも、あの入れたものに対しての価格は妥当であるとしたか我々も言いようがないですね。

○委員（林 悦子君） 比較できないからな。

○委員（小林正紀君） 今回に関しては、積算根拠にのっとってやっているから、その点に関しては妥当ということです。でも、それで問題ないと思います。ただ、総額で7,000万円という、すごいという、その■さんが言いたいことは何となく分かります。だからといって、全然これが高いというわけではないと思うのですけれども。一つずつ崩していくと林さんが言ったように、やっぱりそのときの比較が出ていけば、もっと簡単に結論を出せると思うのですけれども、採択するとなったら難しいよね。

○委員長（飯島洋省君） そうですね。もう終わったものですし。そうしますと、委員長からの提案なのですが、これ条件付きの不採択ってできますか。話をまとめると、設置した製品と工事に対しては価格調査、費用をかけて調査をやって、物を決定して、それで仕様も確定して発注して入札されて、それが適正に工事を完成してというようなところで、その終わったものに対しての価格は適正であるというような判断はできます。ただ、1点だけプロセスの中で、その比較表の中で製品の比較というようなプロセスは取ってほしかったというようなところが判断できるというところはどうですか。

○委員（小林正紀君） そうすると採択になってしまう。陳情の一番下の段、陳情の文面で、その判断に至る過程に改善されなければならない点があるのではないか、ということだから。

○委員長（飯島洋省君） それは、この設置された遊具の価格が適正かどうかという、高いのはいかという話ではないですか。

○委員（小林正紀君） いや、至る過程が、と書いてあるから。だから、過程になってしまうと、さっきの話、できればそういう比較を出してもらったらよかったとか、そういう話になると、これに当てはまってしまうよね。そうすると、やっぱり趣旨採択というとおかしいかな。

○委員（萩原剛志君） 趣旨採択ですよね。そういう角度で言うと、趣旨採択でいいのではない。

○委員（小林正紀君） その程度しかないよね。

○委員（萩原剛志君） 今小林さんが言った、その判断に至る過程に改善されなければならない点があるのだという点でいうと、委員長が言ったところでいうと、趣旨採択の可能性もあるかな。

○委員（小林正紀君） そういうことになってしまう。さっき比較があればという、何かその過程に……

○委員長（飯島洋省君） 暫時休憩します。

休 憩 （午後 4時02分）

---

再 開 （午後 4時14分）

○委員長（飯島洋省君） 会議を再開します。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 新しい資料が出ましたので、ちょっと読ませていただきます。

令和3年4月28日に大和駅北セントラルパーク遊具についてというようなことで資料がありまして、費用の分、令和2年度予算2億円、うち社総交6,000万円、以下の考え方により、遊具の想定費用は5,000万円程度とする。なお、3者見積りは、2基合計で平均4,000万円の基礎工事等は別途計上することになるが、想定費用の範囲内であるというようなことで比較検討したような文面になっております。

○委員長（飯島洋省君） そうすると、そこで5,000万円という今話が出てきましたが。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 経費を除いた金額です。

○委員長（飯島洋省君） 今の資料をどう判断しますか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） 2基合計で平均4,000万円の遊具の中からみたい。

○委員長（飯島洋省君） ちょっと見せてもらえますか。

そこで確認なのですが、この4,000万円を条件にして3者提案をこの比較表の中で出してもらったというようなプロセスでいいですか。

○総合戦略部次長兼地域開発課長（内桶裕教君） はい。裏面に結論がありまして、4番になります。東日本より提案された3種類の遊具については、いずれもA社遊具の評価が高く、また想定される利用者の規模や予算の面についても検討を行ったところ、特段の支障がないため、A社の遊具に決定したというようなことになっていますので。

○委員長（飯島洋省君） というようなプロセスが確認できました。そうすると、先ほどのお話の中で手順としては理屈は通ってはいくのですけれども、皆さんちょっとどう判断しましょうか。

〔何事か声あり〕

○委員長（飯島洋省君） 今の話をまとめますと、まず構想、企画の段階で、予算として費用4,000万円を設定をしていると。その中で3者の調査費用を別途取って、それで遊具調査をかけて、その中で3者4,000万円という条件を基にしながら、3者に提案してもらった。そして、A社に決定している。

そこから先は、先ほど申し上げた繰り返しになりますけれども、そちらのところの設計、そして予定価格を設定して入札、落札されて適正に工事がなされたというところのプロセスについては、特に問題はないというようなことで判断しますけれども、いかがでしょうか。

手順としてちょっと先ほどの情報が間違っていて、それぞれの提案に対して、価格の比較をするわけではなくて、4,000万円という設定をしたところに3者提案をしてもらっているというような手順になっているというところは確認ができましたけれども、そうすると、先ほど言った比較というところが、逆にこちら側から提示をしていって、そこに提案をしたもので一番いいものが採用されたというようなことが読み取れます。

そうすると、手順としても問題ないので、決定の価格としても特に問題ないというような判断ができるかと思うのですが。

○委員（萩原剛志君） それで不採択ですか。

○委員長（飯島洋省君） 今の話の流れをそのまま受け取ると、不採択になるかなと思うのですが、ご意見ございますでしょうか。

○委員（萩原剛志君） 今これは録音していますか。

○委員長（飯島洋省君） はい、しています。

○委員（萩原剛志君） 林さん、いいですか、不採択で。

○委員（林悦子君） 何だか分からなくなってきた。

○委員（萩原剛志君） 小林さん、どうします。

○委員（小林正紀君） 俺は不採択なら不採択でもいいけれども、単純に素人目で7,000万円は高いのではないかと言いたい気持ちは分かります。

○委員（萩原剛志君） では趣旨採択。

○委員（小林正紀君） そうだ。

○委員（萩原剛志君） 賛否を取るか、では。全員でなくてもいいよ。

○委員長（飯島洋省君） はい。

○委員（萩原剛志君） 林さん、どっちにするの。不採択と趣旨採択。

○委員（林悦子君） 不採択と趣旨採択、どっちにするの。

○委員長（飯島洋省君） 今の中で、論点は本当に高いか安い、安いはないけれども、適正か高いかというような話にはなってくると思うのですけれども。

○委員（林悦子君） 正直言って、高いも安いも判断する基準をそもそも持たないよね。

○委員（小林正紀君） 比較がないのだよな。

○委員（萩原剛志君） だから、もうやむを得ないと、こっちは。

○委員（小林正紀君） 賛否を取らなくてもいいのではない。趣旨採択と言っているのは俺だけだから、もう。

○委員（萩原剛志君） 趣旨採択も分からなくもないのだけれども、その趣旨採択とやった後に何が待ち受けているのかという心配もしないと。

○委員（小林正紀君） それ以上のことはない。

○委員（萩原剛志君） 委員長が説明したとおりだね。

○委員長（飯島洋省君） はい、説明したとおりなので、そこで趣旨採択にするか、不採択にするかというところは、その判断基準はそれぞれにあるかと思うのです。ちょっとその辺は私も難しいところで。

○委員（小林正紀君） 問題ないのだよな。

○委員（仁平 実君） 不採択だよ、これは。

○委員（萩原剛志君） 不採択、不採択。あと、どうするかだよ。

○委員長（飯島洋省君） どうしますか。まだ2票です。

○委員（萩原剛志君） 2対2になると、今度委員長だよ。

○委員（林 悦子君） 委員長裁決。

○委員（萩原剛志君） 委員長裁決する。では、趣旨採択にしておく。こっち2人、趣旨採択。

○委員（林 悦子君） 結論聞いてから。

○委員長（飯島洋省君） いや、私は不採択でいいかなと思いますよ。全会一致でよろしいですか。全会一致で……

○委員（萩原剛志君） 全会一致ではないよ。

○委員（林 悦子君） 賛成多数ぐらいにしておきなよ。

○委員長（飯島洋省君） 賛成多数でいいですか。

○委員（萩原剛志君） 委員長裁決にしておくか。しておくかという録音されてるけど。

○委員（林 悦子君） というか、やっぱり全体の計画の枠取りの中でやっているから、本当は細かくもっとこんな遊具についてああだこうだ、ものすごく詳しいのとか好きなのがあって、それで積み上げていってこうだというのだったらいいかもかもしれないけれども、そうすると多分手間暇でかかるのだよね、お金が、それはその分は。だから、こういうのはめったにないことだから、なかなか難しい価格設定になったことは確かですよ。あとは、その公園として発注するか、土木として発注するかによって金額違ってしまふなんていうのを聞くと。

○委員長（飯島洋省君） それでは、お諮りします。

本委員会に付託されました陳情第7号については、賛成多数で不採択とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（飯島洋省君） 異議なしと認め、陳情第7号は不採択と決定いたしました。

それで1点だけ終わる前に、この間の行政視察でお金が少し余っています。

ここで、一旦休憩とします。

休 憩 （午後 4時23分）

---

再 開 （午後 4時24分）

○委員長（飯島洋省君） 会議を再開します。

○閉会の宣告

○委員長（飯島洋省君） 以上で総務常任委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

閉 会 （午後 4時25分）

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

令和8年8月17日

桜川市総務常任委員会委員長 飯島 洋省